

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール

今後の審査の進捗、資料提出の状況により変更の可能性有り。

主要な審査項目	審査状況	審査会合 実績回数 ^{※1}	審査会合 至近実績	準備状況 (%) ^{※2}	平成29年												平成30年												備考											
					10月					11月					12月					1月				2月				3月				4月				5月				
					2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12		19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28
地震・津波	地質	- 敷地の地質・地質構造	(概ね審議済)	6回																																<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔凡例〕</p> <p> : 審査会合を実施中の項目</p> <p> : これまで審査会合を実施していない項目</p> <p> : クリティカルパスとなる項目</p> <p>☆ : 審査会合希望時期</p> <p>▼ : 追而資料提出時期</p> </div>				
		- 敷地周辺の地質・地質構造	(概ね審議済)	10回																																				
	地震動	- 地下構造	(概ね審議済)	2回																																				
		- 震源を特定して策定する地震動	(概ね審議済)	7回																																				
		- 震源を特定せず策定する地震動	(概ね審議済)	2回																																				
		- 基準地震動	(概ね審議済)	2回																																				
		- 基準地震動の年超過確率の参照		1回	H30.1.12	100																																		
	津波	- 3.11型地震による津波	(概ね審議済)	4回																																				
		- 3.11型地震以外による津波	(概ね審議済)	2回																																				
		- 基準津波	(概ね審議済)	1回																																				
		- 津波評価について(基準津波の年超過確率の参照、砂移動評価)	(概ね審議済)	3回																																				
- 地盤・斜面の安定性(第3条)			0回	—	100																																			
- 火山事象		(概ね審議済)	3回																																					
プラント	耐震設計方針(第4.39条) ※第3.38条の設備の地盤への対応も含む			(別紙1参照)	6回	H30.1.30																												関連:耐震(5)1.4構造物評価対象施設が追加となった場合は変更の可能性あり						
	耐津波設計方針(第5.40条)			(別紙2参照)	2回	H30.1.30																																		
	外部事象 (第6条)	電巻に対する設計方針		H29.12.19	4回	90																												関連:その他自然現象(6条)						
		論点	電巻防護ネットの構造及び耐震評価	—	0回	—																												関連:耐震設計方針(4条)、内部火災(8条)						
		火山に対する設計方針		—	0回	—	90																												関連:その他自然現象(6条) 火山灰によるバフフィルタの閉塞試験の実施のため					
		外部火災に対する設計方針		H27.3.19	3回	100																																		
		その他自然現象等に対する設計方針		H29.12.19	2回	100																																		
	内部火災(第8条)、SA設備火災(第4.1条)		H29.12.19	5回	H29.12.19	90																												特定化学物質予防規制改正による耐火材料変更に伴う試験実施のため						
	論点	中央制御室床下ケーブルピットの分離対策について	H29.11.14	1回	H29.11.14	95																																		
		原子炉格納容器内火災防護対策について	H29.11.14	1回	H29.11.14	95																																		
		単一火災発生時の安全停止機能維持について	H29.12.19	1回	H29.12.19	90																																		
	内部漏水(第9条)		H27.6.4	3回	H27.6.4	90																												関連:内部火災(8条) 新SelによるSFPスロッシングの湛水量再評価のため						
	DB	安全施設等																																						
		不法な侵入(第7条)		—	0回	—	100																																	
誤操作の防止(第10条)		H27.6.2	2回	H27.6.2	100																																			
安全避難通路(第11条)		H27.6.2	2回	H27.6.2	100																																			
安全施設(第12条)		H27.4.21	3回	H27.4.21	90																																			
全交流電源喪失(第14条)		—	0回	—	100																																			
使用済燃料プール(第16条、23条)		—	0回	—	100																																			
原子炉冷却材バウンダリ(第17条)		H27.2.24	1回	H27.2.24	100																																			
安全保護回路(第24条)		H27.6.2	2回	H27.6.2	100																																			
原子炉制御室(第26条)		(SA側、59条で ご説明)																																						
監視設備(第31条)		(SA側、60条で ご説明)																																						
保安電源(第33条)		—	0回	—	100																																			
緊急時対策所(第34条)		(SA側、61条で ご説明)																																						
通信連絡設備(第35条)		(SA側、62条で ご説明)																																						

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール（耐震関係）

審議状況 (%) ^{※1}		平成29年																								平成30年												備考													
		10月					11月					12月				1月				2月				3月				4月				5月				6月															
項目	進捗率	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12	19	26	5	12	19	26	5	12	19	26	5	12	19	26	5	12	19	26	5	12	19	26	5	12	19	26
耐震設計方針（第4、39条）																																														【凡例】					
① 基準適合（共通）																																																			
1	第4条：地震による損傷の防止	90%																																													☆	各論点、各条文に係る審査の反映			
1	本文	90%																																													☆	各条文に係る審査の反映			
2	設計用地震力	100%																																													☆	SA設備審査の反映			
3	動的機能維持の評価	85%																																													☆	動的機能維持に係る技術基準解釈等の改訂の反映			
4	弾性設計用地震動Sa・特的地震力による評価	100%																																													☆	SA設備審査の反映			
5	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討	90%																																													☆	各条文に係る審査の反映			
6	水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針	85%																																													☆	先行プラントの審査状況を踏まえ体系的整理			
7	屋外重要土木構造物の耐震評価における耐震選定の考え方	80%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
2	第39条：地震による損傷の防止	90%																																													☆	SA設備審査の反映			
1	本文	90%																																													☆	SA設備審査の反映			
2	重大事故等対処設備の設備分類	85%																																													☆	SA設備審査の反映			
3	設計用地震力	90%																																													☆	SA設備審査の反映			
4	重大事故等対処設備の基本構造等に基づく既往の耐震評価手法の適用性と評価方針	85%																																													☆	SA設備審査の反映			
5	重大事故等対処設備の耐震設計における重大事故と地震の組合せ	95%																																													☆	有効性評価審査の反映			
② 論点「既工認との差異（建物・構築物）」																																																			
1	東北地方太平洋沖地震等による影響を踏まえた建屋耐震設計方法への反映	90%																																													☆	建屋の初期剛性低下の要因分析等の詳細工程を見直し			
1	初期剛性低下の傾向と要因分析	90%																																													☆	建屋の初期剛性低下の要因分析等の詳細工程を見直し			
2	初期剛性低下の要因を踏まえた地震応答解析モデルの策定	90%																																													☆	初期剛性低下の要因確定後、設計体系に取込み			
3	設備への影響検討	80%																																													☆	初期剛性低下の要因確定後、設計体系に取込み			
4	設計体系に反映すべき事項	80%																																													☆	初期剛性低下の要因確定後、設計体系に取込み			
2	建屋地震応答解析における入力地震動の算定	90%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
3	弾塑性解析の適用	90%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
1	応力解析モデル（建物・構築物）への弾塑性解析の適用	80%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
2	原子炉建屋屋根トラスの解析モデルへの弾塑性解析の適用	80%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
③ 論点「既工認との差異（屋外重要土木構築物）」																																																			
1	解析手法の精緻化	90%																																													☆	ヒアリングを踏まえて論点を整理			
1	時刻歴応答解析の採用	90%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
2	境界状態修正法の採用	90%																																													☆	ヒアリングを踏まえて論点再整理			
2	解析モデルの精緻化	90%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
1	3次元非線形モデルの採用	90%																																													☆	関連：耐震省3.5号巻防振ネット ヒアリングを踏まえて論点再整理			
3	後施工せん断補強工法の採用	90%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
④ 論点「既工認との差異（機器・配管）」																																																			
1	原子炉本体基礎の復元力特性	75%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
2	使用済燃料貯蔵ラックの減衰定数の変更	95%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
3	機器・配管系設備に関するその他手法の相違点	95%																																													☆	改定工事の最新状況反映			
1	サプレッションチェンバ内部水質量の考え方変更	95%																																													☆	改定工事の最新状況反映			
2	原子炉建屋クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用	85%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
3	燃料交換機への非線形時刻歴応答解析の適用	70%																																													☆	改定工事の最新状況反映			
4	海水ポンプ室門型クレーンへの非線形時刻歴応答解析の適用	80%																																													☆	改定工事の最新状況反映			
5	海水ポンプ補強エリア 電巻防振ネットのゴム支承採用	75%																																													☆	新たに設定した基準地震動に対する評価反映			
6	立形ポンプの解析モデルの精緻化	95%																																													☆	重要条件を優先			
7	最新知見として得られた減衰定数の採用	90%																																													☆	重要条件を優先			
8	水平方向と鉛直方向の動的地震力の二乗和平方根（GRSS）法による組合せ	90%																																													☆	重要条件を優先			
9	鉛直方向応答解析モデルの追加	90%																																													☆	重要条件を優先			
4	機器・配管系設備の既工認からの構造変更	80%																																													☆	改定工事の最新状況反映			
⑤ 地盤の現状																																																			
1	地盤の現状	90%																																													☆	関連：耐震省1.4号巻防振ネットの構造成立性 先行プラント審査による評価等を反映			
1	現状化評価の基本方針	90%																																													☆	関連：耐震省1.4号巻防振ネットの構造成立性 先行プラント審査による評価等を反映			
2	現状化試験とその代表性評価	90%																																													☆	関連：耐震省1.4号巻防振ネットの構造成立性 先行プラント審査による評価等を反映			
3	現状化強度特性の認定とその保守性評価	90%																																													☆	関連：耐震省1.4号巻防振ネットの構造成立性 先行プラント審査による評価等を反映			
4	構造物評価（有効応力解析）	75%																																													☆	関連：耐震省1.1～3号巻防振ネットの現状化 先行プラント審査による評価等を反映 新たに設定した基準地震動に対する評価反映			

※1 実施中の評価、先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール (耐津波関係)

別紙2

平成30年2月8日
東北電力株式会社

準備状況 (%) ^{※1}	平成29年																								平成30年												備考												
	10月						11月						12月						1月						2月						3月							4月						5月					
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28																		
耐津波設計方針(第5、40条)																																																	
① 基準適合(共通)																																																	
I. はじめに	90%																																																
II. 耐津波設計方針について																																																	
1 基本事項																																																	
1 津波防護対象の選定	90%																																																
2 敷地及び敷地周辺における地形及び施設配置等	90%																																																
3 基準津波による敷地周辺の遡上・浸水域	70%																																																
4 入力津波の設定	70%																																																
5 水位変動・地殻変動の評価	90%																																																
6 設計または評価に用いる入力津波	70%																																																
2 設計基準対象施設の津波防護方針																																																	
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																																
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	80%																																																
3 漏水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	80%																																																
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																																
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																																
6 津波監視	95%																																																
7 津波影響軽減施設	70%																																																
3 重大事故等対応施設の津波防護方針																																																	
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																																
2 敷地への浸水防止(外郭防護1)	70%																																																
3 漏水による重要な安全機能への影響防止(外郭防護2)	70%																																																
4 重要な安全機能を有する施設の隔離(内郭防護)	70%																																																
5 水位変動に伴う取水性低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																																
6 津波監視	90%																																																
4 施設・設備の設計・評価の方針及び条件																																																	
1 津波防護施設の設計	70%																																																
2 浸水防止設備の設計	80%																																																
3 津波監視設備の設計	95%																																																
4 施設・設備等の設計・評価に係る検討事項	80%																																																
② 論点「防潮堤の構造成立性」																																																	
1 防潮堤の構造成立性																																																	
1 設計方針	90%																																																
2 構造成立性	70%																																																
③ 論点「取放水路からの流入防止」																																																	
1 取放水路からの流入防止																																																	
1 設計方針	80%																																																
2 構造成立性	70%																																																

【凡例】

- : 審査会を実施中の項目
- : これまで審査会を実施していない項目
- : クリティカルパスとなる項目
- ☆ : 審査会希望時期
- ▼ : 追って資料提出時期

※耐震 ①1.1~1.4地盤の液状化

※プラントSA設備・手続・43条保管・アウゼル
※8条・津波・地盤・斜めの安全性

※耐震 ①1.1~1.4地盤の液状化

※耐震 ①1.4構造物評価

※1 実施中の評価。先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定